

令和6年度 第13回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和6年12月21日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員7名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 青森市子ども会議フォーラムの振り返り
(2) 子どもの権利トークイベントに向けて
- 5 開催概要

2月8日（土）に開催予定の子どもの権利トークイベントに向けた準備を始めました。

青森市子ども会議フォーラムの振り返り

11月16日（土）に開催した子ども会議フォーラム2024の振り返りを行いました。

まずは当日の来場者のアンケート結果を共有しました。アンケートの回収率は67%、子ども会議の公式Instagramを知っている人は昨年から12ポイントアップの79%でした。自分たちの活動を知ってもらい、青森市の魅力をシェアするために使っている公式Instagramが、徐々に知られてきていることをとてもうれしく感じました。

また、来場者からは「子どもならではの発想に驚いた、素晴らしかった」、「よくまとめられていた」等、発表に関するお褒めの言葉のほかに、「子どもの権利や条例への理解が浸透していないように思うので、定期的に例えば月報や期報などを作成し、各学校で配布したり、イベントで配布したりしてはどうか」などの提案もいただいたので、今後の活動に活かしていきたいと思います。



子どもの権利トークイベントに向けて

去年のトークイベントでは何をやったのか確認してから、高校生委員の進行のもと話し合いました。

まずは、トークゲームの形式について話し合いました。事前アンケートの中で、票数の多い順番に、「ディスカッション」と「ディベート」の2つにすることに決めました。

次にお楽しみコーナーについて話し合いました。事前アンケートで「ワードビンゴ」と「けんりはかせを探せ」が同率1位だったので、この2つは決定としました。次に票数が多かったのは「缶バッジづくり」でしたが、2票差の「スノードームづくり」が浪岡子どもの祭典でも盛り上がったし、作り方もわかりやすいということで、「スノードームづくり」をやることにしました。

その後、周知用のチラシデザインを作成するグループと、シナリオやトークゲームのテーマなど、イベントの具体的な



内容の決定・準備をするグループに分かれて作業を進めました。

チラシデザインを作成するグループでは、事務局が考えたチラシ案を参考にしながら、色やフォント、挿入する写真を選んだり、トークゲームやお楽しみコーナーなどの説明文を考えたりしました。最後に必要な情報がすべて入っているか昨年度のチラシを見ながらチェックし、他の委員にも見せて意見をもらい微修正をして、無事に完成させることができました。

イベントの具体的な内容の決定・準備をするグループでは、シナリオを考える人、トークテーマを考える人、当日必要な物品を話し合う人など、分担して準備を進めました。

シナリオは昨年度のを基にして考え、必要物品もほとんど去年の物や浪岡子どもの祭典で使った物が残っていたので、それらを再利用することにしました。トークテーマは事前アンケートで出ていた案の中から、それぞれのトーク形式にあったもので、当日参加者が考えやすいものを選ぶことにしました。その結果、ディスカッションでは「①ふつうって何だろう？」「②いじめをなくすために自分たちでできること」「③幸せって何だろう？」「④私たちにいま必要な遊び場」、ディベートでは「①友だちは多い方が良い？少ない方が良い？」「②ウソは悪いこと？良いこと？」「③個性と協調性、大事にするのはどっち？」「④時間とお金、大事にするのはどっち？」の4つに決めました。当日はそれぞれ多数決でどのテーマにするか決定します。

今回は、トークイベントのリハーサルを行います。